

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 理事予定者会議

日時：2013年 11月 16日（土）20：30～23：50

場所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 林、金
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) :
(協働連携特別会議議長) :
(法令会計審査会議議長) :
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、鈴木、木村(武)、中島(晴)、相馬
(副 議 長) : 宮林、渡邊、安野、八木、山田、福田(弘)、
(理 事) : 船見、青木、横島、梅田、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <飯沼>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <豊崎>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <八木>
5. 関東地区宣言唱和 <梅田>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事28名／33名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
署名人 村上 正高
黒川 崇
澤畑 敦史
飯野 貴道
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

まずは、本日も2013年度のお時間をお借りしまして、この会議が進められることを感謝しながら進めていきたいと思っております。そして、土曜日という週末のお忙しい中、2013、2014年度がラップしておりますが、本日も明日のありがとう関東地区のために公務で準備されているメンバーが多い中で、そういった担いを重ねながら取り組んでいただいていることに、まずは感謝したいと思います。

そして、前回も少しお話をしましたが、まずは伊豆大島の災害のお話です。私は今日、今年度日本J Cの理事会があったので東京にいたのですが、東京J Cがいま伊豆大島の災害支援に取り組んでいるということで、東京J Cの担当者の方と少しお話をさせていただきました。死者が現在36名、行方不明者がまだ4名おり、現状は家の泥すくいをしていて、あと30軒ぐらい泥すくいが残っている状況とのことでした。ただ、泥をすくっても壊さないといけないので、泥をすくうべきかどうかというところで悩んでいる方々や、住めなくなってしまったので伊豆大島を離れようかと考えている住民の皆様がいらっしゃるということでございました。生まれ育ったまちが災害にあって、このまちを離れるかどうかを真剣に悩んでいる人がいるということは、やはり非常に悲しいことだと思いましたが、我々恵まれている人たちというのは、やはりその災害に遭った人々のために何かしてあげなくてはいけないということを改めて今日感じたところでありました。東京J Cのほうでも支援金の口座開設をしたそうでございます。ぜひこちらのほうもご協力いただければというふうに思います。またフィリピンでは台風の被害があり、報道でもありましたように2000人以上がお亡くなりになりました。J C Iのフィリピンの方ともお話をさせていただいたのですが、報道で流れているとおりに非常に大変な状況のようです。やはり、そういう災害が起きた時に、東日本大震災でもごく一部強奪がおきたりという話は聞いていますけれども、やはり外国の方はひどく、そういう時に乗じて人のものを盗ったり、わがままになっている人が多く、警察等が機関銃を構えている中で、なかなか外国人が支援に入れない状況にあるということでございます。こちらの方も支援金の口座が昨日できておりますので、ご協力いただければというふうに思います。

そして前回からブラジルに12日間ほど行ってまいりまして、宇都宮J Cからは9名でブラジルに行ってきました。この中では朝田副理事長、そして中島専務が一緒に行っていたわけですが、本当に世界会議では100ヶ国以上のメンバーが集まっているいろんな会議に出させていただいて、本当に学びのある12日間でありました。そして日本のJ C運動が非常に認められたなと感じておりますのは、やはり、J Cアワードに数多くの日本のLOMがエントリーしたプログラムが受賞しています。近くですと埼玉の熊谷J Cが最優秀長期的地域コミュニティ活動というのを受賞しました。世界で一番ということでございますので、私も少し世界に宇都宮の名前を発信していくような事業をみんなとやりたいなと思ってしまった次第でございました。やはり、所信にも書かせていただいておりますが、我々は人々の無関心を関心に変えて、関心を意識に変えて、意識を行動に変えるというふうに書かせていただいておりますが、やはり市民の心を動かすのは感動であったりするわけです。これは世界共通なところでもございますし、マザー・テレサの言葉に、愛情の反対は憎しみではなく無関心だという言葉があるそうなのですが、これはやはり、この地域に愛情をもっているのならば、この地域をもっとよくするために関心を持たなければいけない、そして新しいことに率先してやっていくことこそがJ Cなのかなというふうに感じたところでした。実は今日一つ面白い話を聞いたのですが、東京ディズニーランドがあります。東京ディズニーランドはJ Cがなければできなかったという話を今日聞きました。東京ディズニーランドの総合プロデューサーをした人がJ Cの先輩だそうです。はじめはやはりあれだけの規模ですから、かなり反対があったそうです。そしていろいろな人や業者さんとプロジェクトチームを立ち上げた時に集まって来た人のほとんどがJ C出身者だったそうです。J C出身者が固まって俺たちならできるという本当に青くさい、本当に志だけで突き進んで難題をクリアしていきできたのが、実は東京ディズニーランドだったと今日聞きまして、改めてJ Cで学んだ

人は社会で活躍する姿があるのだなと実感しました。J Cは現役の時は学びの期間であって、その本領を発揮するのは40歳で卒業をしてからというのはよく聞くところではございますが、この現役の時代こそ、毎年毎年その年に受けた役を真摯に受けて取り組んでいくことこそが、将来の自分を成長させ、そして町の発展にもつながっていくのだと感じたところでございます。

また、いろいろな事業計画がほぼ完成形になってきているとは思いますが、あと45日間ぐらい予定者の期間がありますので、この準備の期間に気持ちをどんどん高めていただいて、1月1日からしっかりとしたスタートダッシュが切れるように取り組んでまいりたいと思います。本日の会議が有意義な会議になることを祈念申しあげまして、冒頭の私からのあいさつとさせていただきます。

1 1. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

公務のため欠席 割愛

1 2. 役員報告

<中島(崇)> 役員報告ですが、こちらはじめてアジェンダに反映させていただいている内容です。先の常任理事会予定者会議ではご説明しましたが、内容としては、これだけ出向者を輩出するLOMとなりましたので、出向者の方々がこの理事会において報告や依頼報告、そういったお話しをしていただくところがございます。加えて各委員会の議長・委員長の皆様からの依頼や報告の時間を、こちらの方でもうけさせていただきたいと思っております。今までは報告依頼事項がありましたが、こちらに関してはより依頼色を強めておりますので、御礼等々に使う時間ではないというところをご承知いただきたいと思っております。こちらの時間を使い依頼報告をする際は、ある程度内容をまとめていただければと思います。私の方から一点連絡でございますが、2014年度のLOMのスケジュールをすべてGoogleカレンダーで作成しております。現状では出向のからみで梅田副委員長には同期をさせていただいております。2014年度のLOMのスケジュール、そして栃木ブロックのスケジュール、関東地区のスケジュール、日本のスケジュールそしてJCIのスケジュールすべてGoogleカレンダーの中で反映させていただいております。理事のメンバーにはGmailアドレスが必要になりますので作成いただき、もしくはお持ちの方は橋本事務局長までお伝えていただきますようお願いいたします。Gmailの作成等々わからないことがあれば橋本事務局長までお問い合わせいただければと思います。

<木村(英)> 拡大委員会からのお願いですが、次回の理事会までに理事の皆様にはビジターの情報を是非提供してもらいたいと思っております。一か月ありますので1人といわず、2人、3人と報告をあげていただければと思います。次回理事会で発表してもらいますのでよろしくをお願いします。

<橋本> 理事就任承諾書、監事就任承諾書になりますが、日付を無記入の状態で署名と捺印を押し提出してください。

<渡邊> 皆さんに紙資料でお配りしている誓約書ですが、こちら皆さん理事および監事になっていただく規定で欠格がないことを証明するものとなっております。

す。過去5年間警察沙汰になっていないか、国税違反していないか、暴力団の方ではないか、他にも細かい内容に関してかかわるようなことがあれば別にご相談ください。名前と住所を書き総会の日までに提出をお願いします。

13. 協議事項

協-01 2014年度 理事長所信（案）について

冒頭	<村上>
【はじめに】	<安野>
【世界とのつながり】	<八木>
【JCは学び舎である】	<山田>
【市民が主役のまちへ】	<福田(弘)>
【市民意識の変革】	<岡田>
【共助の精神】	<相馬>
【真の「公」をめざすために】	<中島(晴)>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】	<梅田>
【未来への希望】	<横島>
【結びに】	<木村(武)>

※上記を熟読致しました。

協-02 2014年度 基本計画（案）について

<中島(崇)> 基本理念『最良の変化をもたらす 市民による市民のための運動』こちらは理事長のほうで考えていただいた基本理念です。スローガンは理事メンバーの皆様から公募を募らせていただき、金常任の考えていただいた『市民が主役のまちへ～JAYCEEの情熱と連携が市民意識を変革する～』こちらを採用させていただきました。

協-03 2014年度 総会・例会・事業担当（案）について

<中島(崇)> 2014年度に行われます通常総会、そして例会、事業または日本JCが実施する事業計画のスケジュールを記入させていただいております。LOMのスケジュールと日本JCが行う事業などが入っておりますが、日程の所でまだ記載されていないものに関しては、現状で日程が完全に決まっていないところなので空欄となっております。またLOMの事業、例会等々のスケジュールでございますが、県提出用の事業計画書もこちらの日取りで記入いただいておりますが、こちらの日取りでまずは開催検討をしていただければと思います。

協-04 2014年度 諸会議要項（案）について

<中島(崇)> 正副理事長会議、常任理事会、理事会の諸会議の要項、またはこの三つの会議における特記事項が書いてあります。

協- 05 2014年度 定款変更（案）について

<渡邊> アジェンダの改正案③の(1)(2)の間が改行されておられませんので、修正したものを紙資料で配らせていただいております。

<中島(崇)> (4)の②の所のご説明を補足いただけますか。

<宮林> ②項の宇都宮JCの活動範囲に関するのですが、次年度福島県での活動、こころのふれあいに関しまして、他県での活動が想定されておりますので、そこに関する定款変更となっております。

<中島(崇)> 説明の補足として定款に入れることにより、公益事業として被災地の福島県での事業、例会をおこなっても公益事業として認めることができるという文言を掲載しております。

協- 06 2014年度 諸規定変更（案）について

<宮林> 運営規定の所で各委員会の名称変更や事業内容の規定変更をしております。

協- 07 2014年度 収支予算計画（案）について

<中島(崇)> 前回の常任理事会において確認いただいた予算計画になります。そこからの変更点になりますが、事業活動収支と事業活動収入の部分になりますが入会金収入が3万円×30名で90万というかたちになっております。常任理事会のお話しでは入会金1万円で計画をしておりましたが、時間的な部分でまだ協議が必要などころもあるので、2013年度としてはこちらを審議するにあたり、まずは入会金3万円という変更のないかたちで上程をさせていただきま。それにより入ってくる60万円を事業費等々へ反映させていただいておりますので、確認をお願いいたします。

協- 08 2014年度 事業計画書（案）について

<渡邊> 青少年育成委員会の公益事業該当理由の変更をさせていただきたいと思。『地域の青年の教育・豊かな心の向上を図るために相撲をつうじた青少年育成事業を実現するものであってわんぱく相撲全国大会をつうじて青少年の心身の成長に寄与する点において公益目的事業に該当いたします』こちらの文章に修正いたします。

<中島(崇)> 期日どおりのご提出ありがとうございます。また法令審査会議で事前にもうすこし早めの段階で配信をさせていただければよかったと思っております。私の方からもお詫びを申し上げたいと思。こちらの事業計画書は県に提出する重みのある書類でございます。こちらをもって公益社団法人としての公益事業を行っているという非常に重要な書類でございますので、しっかりと精査させていただきますが、総会に上程をする前の最終のチェック段階になります。

<中島(崇)> 青少年育成委員会のわんぱく相撲全国大会、こちらの事業計画書(案)のみ先ほど渡邊副議長から読み上げをさせていただきましたものに修正のうえ、2013年の理事会に提出をさせていただきたいと思います。以上総会関係案件になりますが、2014年度として協議を進めたということを皆さんへ周知してください。

<村上> 総会の基本的な資料になりますので今一度皆さん確認をしていただき、一度こちらで今年度理事会、総会にとおします。また収支予算につきましては年明けから今年の余剰金が発生しますので、修正収支を組んだその時に協議ができればいいかなというふうに思います。議長、委員長の皆様には、自分たちの担当事業で予算がどの程度欲しいかを来年、各副理事長にお伝えいただければと思います。

協-09 2014年度 事業計画(案)・年間事業フレーム(案)について

<中島(崇)> 時間の都合により読み上げは割愛させていただきます。変更点がある場合のみ変更点を上程してください。

・専務グループ 法令会計審査会議 事業計画(案)

協議資料に基づき、渡邊副議長より上程文の読み上げ

・専務グループ 総務委員会 事業計画(案)

協議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ

<中島(崇)> 4行目『我々の行う運動』動詞が二重になっているので『行う』は削除をお願いします。

<飯沼> 削除させていただきます。

・専務グループ 渉外委員会 事業計画(案)

協議資料に基づき、新妻委員長より上程文の読み上げ

・専務グループ J C運動発信委員会 事業計画(案)

協議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ

<朝田> 報告事項で『賛助企業拡大の』というのを『開発』に直されているのですが、事業計画の方も修正させていただきたいと思います。またほかの事業に関しても、こちら拡大の方から再確認修正をお願いしたいと思います。

<豊崎> 対応させていただきます。

- ・人的交流グループ 宮まつり委員会 事業計画(案)

協議資料に基づき、鈴木委員長より上程文の読み上げ

- ・人的交流グループ 地域交流委員会 事業計画(案) <木村(武)>

協議資料に基づき、木村委員長より上程文の読み上げ

<福田(之)> 補足ですが、宮まつり委員会と地域交流委員会の事業計画(案)につきましては、常任の時の意見を反映させていただいているのですが、現在作成中で文章の方を精査するまで時間がかかり、対応できなかったことを大変申しわけなく思います。次回の正副までには必ず新しいバージョンをあげますのでよろしくをお願いします。

- ・未来創造グループ 政策委員会 事業計画(案)

協議資料に基づき、中島委員長より上程文の読み上げ

<飯沼> 1行目から2行目にわたる文章の『推進しています』の主語は、誰が推進しているのでしょうか。

<中島> 推進としているのは、社会として社会全体が推進しているということを記載いたしました。

- ・未来創造グループ 青少年育成委員会 事業案計画(案) <相馬>

協議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ

<木村(英)> 16行目の『礼を』を『礼節』に変えた方がいいと思います。

<相馬> 修正いたします。

- ・全国大会グループ 全国大会招致会議 事業計画(案)

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ

- ・会員拡大グループ 会員拡大会議 事業計画(案)

協議資料に基づき、八木副議長より上程文の読み上げ

- ・協働連携グループ 協働連携特別会議 事業計画(案)

協議資料に基づき、安野副議長より上程文の読み上げ

- <中島(崇)> 年間事業フレーム(案)に関しては、一括にてご意見を頂戴できればと思います。さきほど朝田副理事長からご指摘をいただいた、J C運動発信委員会賛助企業の点に関しては、拡大の文言を開発に変更するようお願いいたします。そのほか修正変更等々ございますか。
- <山田> 宮まつり委員会の年間事業フレームですが、細い枠と太い枠が混在しているので他のフォーマットと統一した方がいいと思います。
- <中島(崇)> 罫線の太さはほかの委員会と統一をお願いします。補足でございますが、こちらの事業計画案(案)と年間事業フレーム、こちらに関しては1月の総会に掲載する資料でございます。年内いっぱい再度協議を行ってまいります。例年ですと委員長所信を総会資料に掲載させていただいておりましたが、2014年度に関しては、事業計画と年間事業フレームの二軸で総会資料に掲載したいと思っておりますので、委員会メンバーへの周知と、引き続きの精査をお願いいたします。
- <村上> ある程度方向性は定まってきたと思いますが、なんとなく日本語が変な感じがするところが多いので、ずっと読めるような文書にしていただければと思います。それと所信の言葉を使っていたのはありがたいのですが、所信の言葉の順番を入れ替えている所が見受けられます。所信を書いた時に、その順番に意味があり書いているので、その順番を入れ替えることにより意味が少し違っている所があります。キーワードとして所信の言葉を使っていたのはありがたいのですが、議長、委員長の自分の言葉で書いていただく方が、意味が所信とつながってくるのかなというふうに思いました。これで一年間の活動方向がフィックスされてしまいますので、精査をしていただきたいと思っております。

協- 10 2014年度 第109回通常総会(案)について

協議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ

- <横島> 4期目を迎えてとおっしゃっていましたが、こちらの方4年目になっていません。案内文の方も4年目になっています。
- <飯沼> こちらにつきましては法令審査会議事業計画の方でもありましたが、前回の常任理事会で4期目の方がふさわしいのではないかという意見があり、4期目と書かせていただきました。その他の資料につきましても4期目と変更いたします。
- <安野> 式次第の名前はもう入れてもいいのではないかと思います。もう一つは委任状を送る案内文ですが、1月7日ということは、今年度の理事会で審議をいただいで、すぐには発送しないということですか。
- <飯沼> こちらにつきましては最終の審議をとる時期を、当初1月6日に想定されている臨時理事会、こちらを念頭にいれておりましたので、臨時理事会が終わ

った後の日付ということで一番嘘のない7日の日付にさせていただいております。その点については正式な議案の審議スケジュールが確定次第、連動させる形で各資料の日付を訂正させていただきたいと思います。式次第、セレモニーのお名前に関しては、委員会内でしっかりと決め、議案上程までに入れ込ませていただきます。

- <飯野> 監査報告(案)承認の件は単純に報告して終わりではないのかなと思います。
- <飯沼> 検討をして、訂正させていただきます。
- <村上> 総会の開催については法的に要求されるところがございますので、法令会計と連携し、準備していただければと思います。

協- 1 1 2014年度 1月例会 新春交流会 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、新妻委員長より上程文の読み上げ

- <中島(崇)> 前回からの大きな変更点に関しては設えの中身のところです。各会議委員会の皆様に交流会の中で自分たちの事業を、年間をとおし発表していただく設えが変更追加になっています。
- <中島(崇)> リンク漏れになっている資料はフォルダーには格納されていますか。
- <新妻> 格納されておりせん。申しわけありませんでした。
- <福田(之)> 新春交流会式次第の後ろに来賓者名簿を印刷し、会場でお配りするのでしょうか。
- <新妻> 当日受付で配る予定でございます。
- <福田(之)> 予算をみると式次第の印刷代が計上されていない気がします。その印刷に費用がかかるのであれば予算に計上した方がいいと思います。
- <新妻> 追加記入させていただきます。
- <山田> 事業概要3番項の参加員数の計画は記載されていますが、参加推進もどのように呼びするのか記載された方がいいと思います。
- <新妻> こちらの方は告知議案の方で記入しています。
- <羽石> 事業概要についてですが、PRムービー終了後理事長メインスピーチをしていただきます。理事長には後ろの扉から登場していただき、渉外委員会が誘導し登壇していただきますとありますが、この際の理事長の動線はどのように考えていますか。
- <新妻> 委員会で協議させていただきます。

- <澤畑> 事務方が書くはじめての議案書ですが、もう少ししっかり書けるようにした方がよいと思います。今年度の工夫とか期待しますとかおかしいと思います。工夫と期待される効果というのをできるといい切れないうで、それを工夫といれているのですから工夫と効果がリンクされていないような気がします。そういったところや、意見と対応もうそうですが、内輪で話しているような書き方だとどこをどう修正したのかわからない。これを参考にほかの委員会も議案書をかいてくると思います。しっかりとその辺をやっていただきわかりやすく作っていただきたいと思います。
- <新妻> もう少し詰めて記入するようにします。
- <村上> 澤畑監事がいいましたように文章の表現を丁寧に書いていただきたいとします。もう一点気になる点ですが、事業目的の部分なのですが、もちろん報告決算議案があとであがってきますが、たとえば対外的にJC運動に対してご理解いただきます。というふうにあります、ご理解いただけたかをどのように検証するのかなと思います。検証ができないのなら報告書も書けません。ですから検証の方法も事業計画書に入れる必要があると思いますし、この検証ができないと、たとえばその次の年に今年失敗したことがつながらなくなってしまう。しっかりと検証ができる目的を設定し、かつ検証方法もしっかりと事業計画に入れたいと思います。あとワンクールありますのでしっかりと詰めていただければと思います。

協- 1 2 2 0 1 4年度 1月例会 新春交流会 告知計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、新妻委員長より上程文の読み上げ

- <中島(崇)> 11月18日に審議賜った後の告知計画の段取りのご説明をお願いいたします。
- <新妻> 18日に審議いただいてから、金曜日から12月6日まで手持ちと郵送でのご案内を考えております。役所関係は正副の皆様にご協力をいただいて手持ちで回る予定です。その他は郵送で考えております。郵送してからも丁寧な対応が必要なので、郵送先に電話をして届いているかの確認と、出席のお願いをする予定です。
- <梅田> 新春交流会来賓者紹介リストの総務委員長の名前の読み方が間違っています。
- <新妻> 修正いたします。
- <朝田> 前回の常任の時にシニアの会費を5千円から上げて構いません。再度協議します。と書いてありますが、今回も案内文には5千円と書かれています。これは再度協議するのですか。結論を出していただきたいとします。
- <中島(崇)> 私の方から補足ですが、シニアと確認を取らせていただきまして、会費に関しては5千円変わらず行きたいとします。

- <朝田> そうでしたら先ほどの議案も協議しますではなく決定しましたというふう
に直していただきたいと思います。
- <新妻> 修正いたします。
- <村上> リストで間違っているところがあります。あと私の名前を出しますので、文
面は最終的に私に確認させてください。

協- 13 PR映像作成並びに予算（案）について

協議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ

- <中島(崇)> PR映像ですが新春交流会で使用するPRムービーでございます。またち
らの用途にかんしては公益事業になりますので、年間をとおして行う公益事
業の中で、そういったPRをする機会を作って使用、放映というところも検
討しております。こちらのPR映像の作成については常任理事予定者会議の
段階から絵コンテのご意見を多数頂戴しておりまして、そちらに関しては修
正させていただいておりますが、絵コンテの修正がまだ仕上がっておりませ
ん。そのため中身の協議が現状できない状況になっておりますので、その点
に関しましてお詫びを申し上げたいと思います。またこちらに関してもサン
プル映像の作成予定ということでもよろしいですか。そちらの方で改めて確認
をしていただきたいと思います。
- <梅田> 絵コンテの中のJ C Iマークが奥からゆっくり出てくると書いてありますが
が、ぼかしでJ C Iマークを使っではいけない気がするのですが。
- <豊崎> こちら常任予定者会議でもご意見いただいております、背景を白単色で統
一するという事で変更を進めております。
- <鈴木> 現段階でのだいたいのイメージで、こんな感じで直して作っているというイ
メージを教えていただけないでしょうか。
- <豊崎> 正直絵コンテだけではイメージしづらい部分があるとは思いますが、制作
会社さんの方と今協議しております、先ほど専務からも話がありましたが、
サンプル映像を作成させていただきたいと思っております。来月早々次
年度正副の方からお持ちできたらと検討の方進めております。
- <鈴木> この現段階のものをベースに組み立て直すのか、たとえば映像の手をつなぐ
シーンをそのまま使うのか、あと宇都宮市の紹介がたくさんありますが、そ
ういうところを残すのか、それとも変えるのかそういうイメージをもう少し
教えてもらいたいと思います。
- <豊崎> 基本的に今回のこの形を基本に組み立てていきたいと思っております。常任理事会
でもご意見いただきましたが、宇都宮市の紹介のカットが多いというところ
でいくつかの所をきっていくのと、宇都宮J Cの紹介PRを増やしていきま
す。大きな変更点としては以上です。

<福田(之)> 常任理事会の時の予算総額20万から10万円に下がっていますが、意見と対応の方で予算を再考してください。そもそも常任理事会での20万円の意図というのは20万円掛けるのであれば20万円らしいものを作ってくださいという意図で、予算を10万円に下げるという意図ではなかったと思います。10万円で1年間流すDVDを20万円ぐらいの効果があるもので作れるのであれば10万円に落としてもいいと思います。20万円にみあったものを作ってください。それがこの前の絵コンテではみられなかったということなので、単純にこういった意図で10万円に下げたのかお聞きしたいです。

<豊崎> まず20万が高いといったご意見が理事会であったと思うのですが、こちらが違った意味で私に伝わっていたというところでしょうか。20万全額使用するにあたり絵コンテからだともえてこない部分があると思います。技術的な部分で20万円をかけて中身を濃くしてみようとか、技術的な面でいうところで20万円という金額が高いというのであれば、品質や技術料を下げていただき10万円までコストを下げて制作してみようというところで制作会社へ金額を出してもらい検討させていただいております。

<福田(之)> 常任理事会の意見がよく伝わってなかったと思います。20万円を出すことが悪いことではない。20万円なら20万円なりの効果を出してほしいという意図であったわけで、この前の絵コンテでみえない部分でこういう技術がかかってしまうのですというのであればより質を上げてもらって20万円でやってもうとか、1年間宇都宮JCをピーアールするものなので質を落とすことはないと思います。もう一つ意見であったのは1社しか見積りをとってないというところで、もう1社見積をとればもう少し下げられたのではないか、そういう努力が見受けられないという意見はありました。そもそも単純に20万円を落としてというのではなくより質の高いものを作ってほしいというのが本来の意図であると思いますので、もう一度委員会の方で再考していただければと思います。

<豊崎> 委員会で中身と内容を再考させていただきます。

<中島(崇)> 絵コンテの中身が今の段階でイメージしかできないというところで協議が厳しい話でございますので、ここで一度協議をうちきりとさせていただきます。

<村上> 2014年度の活動をしていく方向性を、この映像でしっかりとしたテーマ性を打ち出していきたいと思います。それから金額の件で費用対効果の話になってしまいますが、映像のクォリティとこの映像を年間何回使えるかというのをシュミレーションしてリストに添付するとよいかと思います。ただ財審でも費用対効果は指摘をうけるとおもいますが、その辺次回正副までに準備していただけるということなので、ぜひ業者さんのご協力をいただいております。

協- 14 その他

14. 報告依頼事項

報- 01 2014年度 グループ構成（案）について

<中島(崇)> J C運動発信委員会のところを、賛助企業の開発というかたちで訂正させていただきます。

報- 02 2014年度 組織図（案） ・ 対外出向者（案）について

<中島(崇)> 特別理事の赤松理事が日本の公務を優先するという配慮のもと理事を辞退することとなりましたので、組織図上からも特別理事からは抜けており、宮まつり委員会に配属となっております。それと10月認証の3名になりますが、まだこちらの組織図には反映されておりませんが、今年度拡大委員会の配慮により居残りというかたちではなく、いずれかの委員会に配属されるかたちとなります。次月の理事会でまた報告いたします。対外出向者に関しては随時更新されておりますので、ご確認お願いいたします。尚、日本J Cに出向されている方に関しては、出向者エントリーをすでにしており、WEB上での認証もすでにいただいております。

報- 03 2014年度 年間公式スケジュール（案）

<中島(崇)> 総会・例会・事業担当表にも記載されていましたが、その他にJ C I、日本、地区、ブロックのスケジュールになりますのでご一読ください。

報- 04 2014年度 会議・委員会職務分担表（案）について

<中島(崇)> ご一読ください。

報- 05 今後のスケジュールについて

<中島(崇)> 明日、11月17日（日）水戸の地でありがとう関東地区が開催されます。理事会構成メンバーにおかれましては、積極的な参加をお願いいたします。それと12月24日の理事会になりますが、日程の変更を考えております。23、24、25のいずれかになると思います。決まり次第ご報告さしあげます。

15. 監事講評

<飯野> まずは総務委員会の皆さま、渉外員会の皆さま、本当に土曜日という日程、しかも夜遅くの開始にこのようにご設営いただき、まずはありがとうございます。本日の理事会ですが、まず次年度の基本計画あるいは予算等々いよいよ固まってきたところがございます。この流れといたしましては明後日の2013年度の理事会の総会資料案件として上程をいたしまして、そこで無事審議がとれれば今月28日の第108回通常総会の議案としてこちらは記載され、総会の承認をそこで受けるというかたちになります。今日はあまり

ご意見が出ませんでした。が、次年度の理事の皆さまが計画について意見ができるのは今日が最後ということですので、これでまとまり皆さまがこの計画を承認されたということになります。明日以降はこの計画について皆さまに実行する責任が発生してまいりますので、そちらをご理解していただいて、監事講評で個別の内容に触れるのはいかがなものかという面もありますけれども、たとえば事業計画の中で木村委員長の事業はホノルルでやることになります。これは私入会して以降、県外でやる事業例会というのはおそらくなかったのかなと思います。新たな取り組みでありそれ自体は素晴らしいことだとは思いますが、如何せん遠方でもありまして、メンバーの中にはいろんな意見をお持ちの方もいらっしゃると思います。是非今後の委員会等々に置きまして、もしそういう質問があった場合にはここにいる理事の皆さまが、しっかりと趣旨をご説明していただいて、できれば総会の場で質問や反対票、白票が入ることのないようにしっかりと趣旨をお伝えいただきたいと思っております。また、実際この事業計画どおりに例会、事業の日を迎えたとした場合には皆さんがメンバーの方と少しでも多く例会の場にお連れする責任も発生してまいります。是非その所をよくご理解いただきまして、次年度の今後の事業計画に取り組んでいただければと思います。

さて、それ以外に本日は総会・新春例会それとPR事業の議案書が出てまいりました。いよいよ具体的に動き出したなと思っております。内容についてですが、やはり新春例会につきましてはここにあるリストに載っているとおり非常に多くの対外の来賓の方々をお招きする例会になります。これだけ多くの方をお招きする例会というのはありませんので、非常に対外に対するイメージ、宇都宮JCのイメージが形作られる非常に重要な例会となります。また例会当日を迎えるまでに、是非こちらの委員会メンバーの皆さま方にどのような方がいらっしゃって、どのような趣旨で開催されるのかをしっかりと落とし込んでいただきまして、例会当日に不適切な行いとかあまりよくない印象を持たれてしまうようなことがないようにしっかりと趣旨を落とし込んでいただければと思います。もう1点リストの件ですが、若干私いま不安に思っております。というのは以前、去年だったと思っておりますが、このリストはその前の年度の理事会に出しているのです。今でいえば2013年度の理事のメンバーの方にも回覧をして、何か間違いはないかとか新しく追加すべきものはないかとかそういったものをご確認しております。今から間に合うかどうかは別にいたしまして、過去にそういった取り組みがなされてきた実績があるのですが、おそらく今年はやられていらっしゃらないのかなと、何か理由があってやらなければまたそれはそれでよいのですが、これまで積み重ねて来たものをやはりしっかりと振り返ってみていただいて、そしてそれを踏まえたうえでもう一歩じゃ何ができるのか、さらに一歩上のやりかたですとか取組をするのがこの事業を作り上げていく意味があるのかなと思っておりますので、これから先、様々な理事会にて様々な議案書を作り上げると思いますが、しっかりと過去の取り組みがどのようにされていたのかをご確認していただいて、よいものは引き継ぎ、さらに発展させるような形で是非しっかりと過去の取り組みをご確認していただきたいなと思っております。さて、今日新春例会・PR事業のご意見をおっしゃられた方もいらっしゃいますが、いかかでしょうか、皆さましっかりと資料をご覧になりましたでしょうか。私が気付いただけでも、たとえば議案の上程スケジュールが間違っていたりとか、あるいは対外に対する案内文のあいさつが間違っていたりとか、来賓への招待FAX番号が明らかに届かない番号になっていたりと、少しみればわかるのではないかなという間違いがいくつもありました。今日こういった少しみればわかる間違いが出てきてしまう議案書を、常任理事の方、副理事長の方々には確認されたの

か、また、そこで気付かなかったとしてもこの理事会の場ではせめて気付けることではないのかなと思います。是非その辺りの所も、まだ第1回予定者の段階とはいえ、皆さんは理事になった以上その責任は発生しておりますので、しっかりと出てきた議案を確認していただいて、宇都宮J.Cとして出して恥ずかしくない議案を作り上げていただきたいと思います。

少しいろいろと厳しい部分をいったと思いますが、先ほど澤畑監事がおっしゃったように今回出てきた議案、新春やら総会この議案がこれから先の指標となります。この議案が非常に高いレベルであれば、そこから先、今後出てくる議案も非常に高いレベルで議案が作成されるでしょうし、これが低いレベルであればそこからのスタートです。そこは飯沼総務委員長や新妻渉外委員長の頑張り次第で今後1年間の議案書のレベルがぐっと変わってくると思いますので、ぜひ次回以降素晴らしい議案が出てくることを期待しておりますので頑張ってくださいと思います。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 理事予定者会議議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
澤 畑 敦 史
飯 野 貴 道

